

報告第2号

コミュニティ交通の検討状況について

○添付資料

- 資料1 コミュニティ交通の検討状況について
- 資料2 コミュニティ交通の検討地区 位置図

コミュニティ交通の検討状況について

■市の取組方針

市内の公共交通不便地域の改善を目的として、地域主体によるコミュニティ交通の取組みに対して支援することで、持続的な地域公共交通の確保や、活力あるまちづくりを実現する。

■検討地区

市内では以下の4地区で検討している。

地区名 検討主体	設立時期	参加地区(自治会)	地区の状況 (R2.9.30現在)	取組内容	進捗状況	今後の課題
名塩地区 名塩コミュニティバス準備委員会	H30.12	6自治会+神戸市生野高原まちづくり協議会が参加 ・名塩山荘 ・光陽台 ・名塩ガーデン ・名塩美山 ・名塩平成台 ・名塩緑ヶ丘 ・生野高原(神戸市)	世帯数：1,808世帯 人口：4,049人 高齢者率：31.7%	・毎月会議を開催 ・アンケートの実施 ・運送事業者の協力により、試走の実施	・令和3年度の試験運行を目指し、運行事業者の選定中 ・運行計画について協議中	・運行事業者の確保 ・試験運行に向けた運行計画案の作成 ・神戸市との調整
山口地区 山口地域コミュニティ交通検討委員会	H30.5	山口地区の全自治会(10自治会)が参加	世帯数：4,589世帯 人口：10,201人 高齢者率：26.9%	・年4回会議を開催(令和元年11月～令和2年8月まで一時休止)	・令和2年9月から対象地域を4自治会(※)に絞り会議を再開 (※北六甲台、名来、上山口東、中野)	・地区内の合意形成 ・試験運行に向けた運行計画案の作成
甲陽園地区 甲陽地域コミュニティバス導入協議会	R2.8	4自治会が参加 ・やまびこ会 ・甲陽園目神山町 ・甲陽園西山町第一 ・甲陽園山王町	世帯数：2,035世帯 人口：4,732人 高齢者率：28.7%	・毎月会議を開催	地域の課題や運行計画について協議中	・試験運行に向けた運行計画案の作成
苦楽園地区 苦楽園自治会(コミュニティ交通担当理事を設置)	R2.9	苦楽園自治会	世帯数：2,020世帯 人口：4,999人 高齢者率：23.5%	・自治会の定例会で必要に応じて協議 ・アンケートの実施	運行計画について協議中	・地区内の協力者の確保 ・試験運行に向けた運行計画案の作成

■市の支援制度

①交通アドバイザー派遣

地域からの依頼に対して、市では交通アドバイザーを派遣しており、アドバイザーは専門的な知識と経験から、地域からの相談に対するアドバイスや、取組み手法の紹介などの支援を行っている。

②試験運行等に対する補助

補助対象経費		補助金の額	補助限度額
● <u>試験運行にかかる経費</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転士等人件費 ・燃料油脂費 ・車両修繕費(点検費含む) ・自動車損害賠償保険料 ・車両減価償却費 ・租税公課費 ・その他 	補助対象経費から運行収入を控除した額 (運行損失額)	予算の範囲内で 全額補助
● <u>関係事務経費</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議運営費 ・広報誌等の作成及び配布に要する経費 ・イベント等の開催に伴う会場使用料及び講師謝金 ・停留所明示に係る簡易な掲示板等 ・その他 	各項目の実支出額	年間 30 万円以内

※補助の対象期間は、原則 3 年を限度とする。

③本格運行に対する補助

補助対象経費	補助金の額	補助限度額
● <u>運行損失助成金</u>	補助対象経費から運行収入を控除した額	運行経費の 60%か 600 万円のいずれか低い額が限度
● <u>車両減価償却費等助成金</u>	運行に使用するために取得した車両の減価償却費を年度毎に分割した額	予算の範囲内で年度毎に補助
● <u>バス停留所標識設置等助成金</u>	バス停留所標識の設置等の費用 (デザイン・制作・設置)	予算の範囲内で全額補助

※国の補助金の対象となる場合は、補助金を控除した費用に対して補助。

④その他

- ・地域での検討会議等に参加してコミュニティ交通導入に向けた取組に対する支援を行う。
- ・警察・国等の関係機関との協議調整等の支援を行う。

以上

コミュニティ交通検討地区 位置図

